

北海道善行賞を受賞して



旭川母子福祉連合会

赤津 早苗

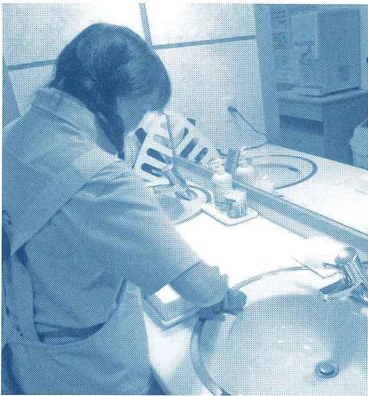
5月16日札幌市で高橋はるみ知事より、賞状をいただきました。

14年前に主人を亡くし、幼い子供を抱えて母子家庭になり不安ばかりでしたが、夢中で過ごし歳月が経ちました。

現在の会社では、ホテルの部屋の清掃や葬儀場の清掃の仕事を担当して、二人の子どもを育てています。仕事柄、子どもが小中学生

の頃に参観日や行事に参加できず、寂しい思いをさせたとはいえず。娘は中学生の時に、母子会が開いていた学習塾「みのり」に参加して、希望校の旭川南高校へ進学し、勉強と女子サッカー部で3年間頑張りました。将来はサッカーにかかわる仕事を目指して専門学校に進み、東京で頑張っています。息子は中学時代に卓球に打ち込み、卓球推薦で旭川実業高等学校に進み、苦手な勉強と大好きな卓球を頑張っています。

14年間には書ききれないほどのいろいろな出来事がありました。今は懐かしい思い出です。これからも苦しい事、辛い事があっても、その先にきつと楽しい事があると信じます。今まで支えて下さった方々への感謝を忘れずに、子ども



ホテル清掃中の赤津さん

と一緒に日々の努力を続けて一生懸命頑張って行きたいと思っています。

厚真町母子会

尾形ひとみ

この度、優良母子家庭として善行賞をいただき、家族共々喜びでいっぱいです。

振り返りますと離婚当時、3人の子どもは、中学1年と小学3年と保育園児でした。親の勝手からの離婚に3人の子どもはバラバラでした。そんな事を知って、母子会に入っていた職場の先輩に勧められて入会しました。女ひとり仕事と家庭の両立は、金銭的苦労が一番大きく母子会の皆さまに助けられました。母子会で連れて行っていただいた旭山動物園や温泉への旅行は、今でも忘れられない楽しい思い出です。高校に入学してからは奨学金をいただき、何不自由なく部活動が続けさせるこ

とが出来ました。末っ子も来春には社会人になり、ようやく自身身の時間がとれるようになりま。社会人になってもサッカーを続けている二男の試合を観に行くのが楽しみです。昨年12月に長男に子どもが産まれ、孫と遊んだり成長を楽しみにしています。

これまで母子会を築き、発展させて下さった先人に心から感謝し、これからも母子会の活動を通して、いろいろな制度がある事をひとり親で子育て中の方にお知らせし、母子会の増員に繋げていきたいと思っています。



上：見守り支えてくれたお母さんと
下：3人の息子さんとお嫁さん

平成29年度共同募金助成金は4ブロック研修会、
広報誌発行に充当させていただきます。
ご報告し、お礼申し上げます。